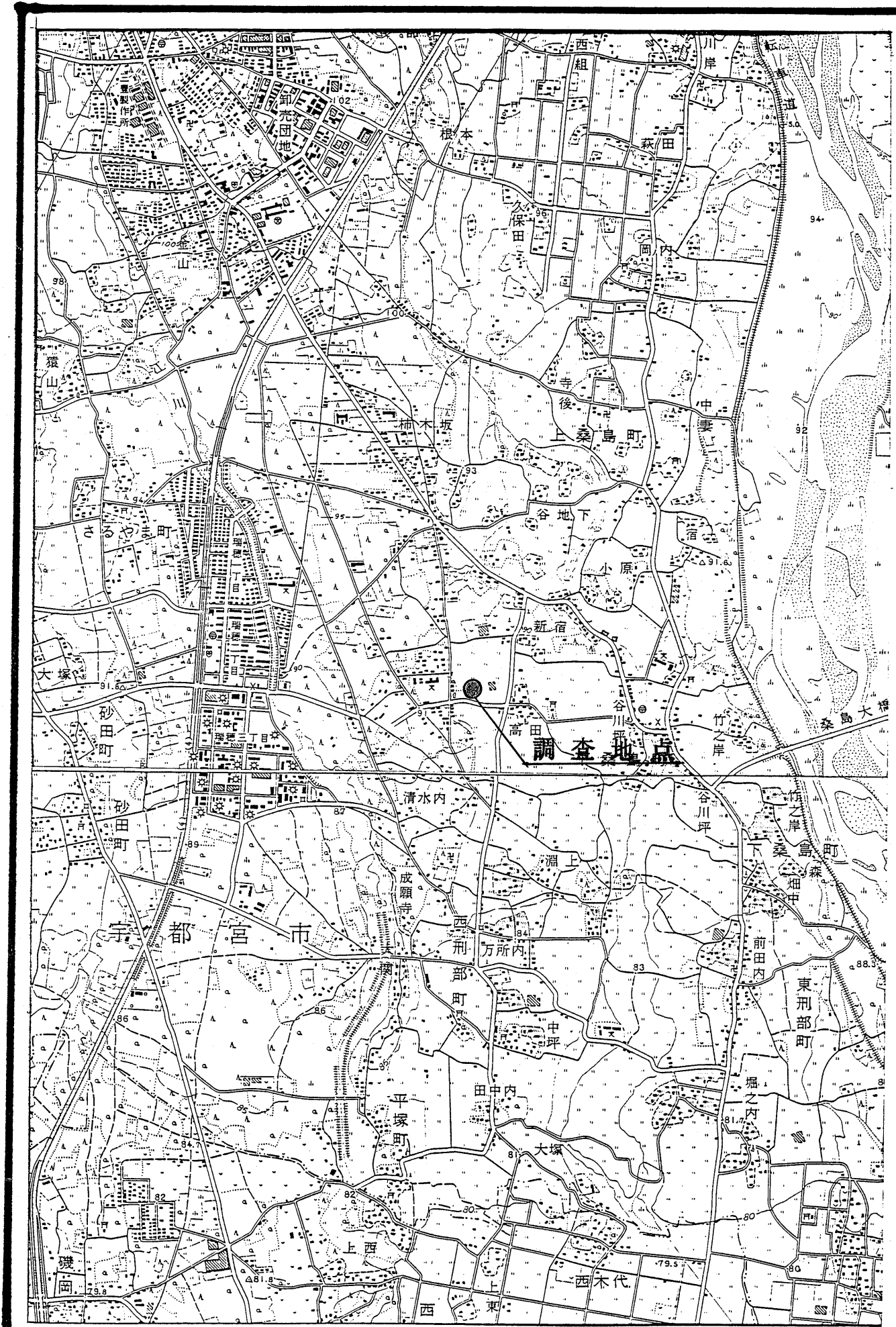
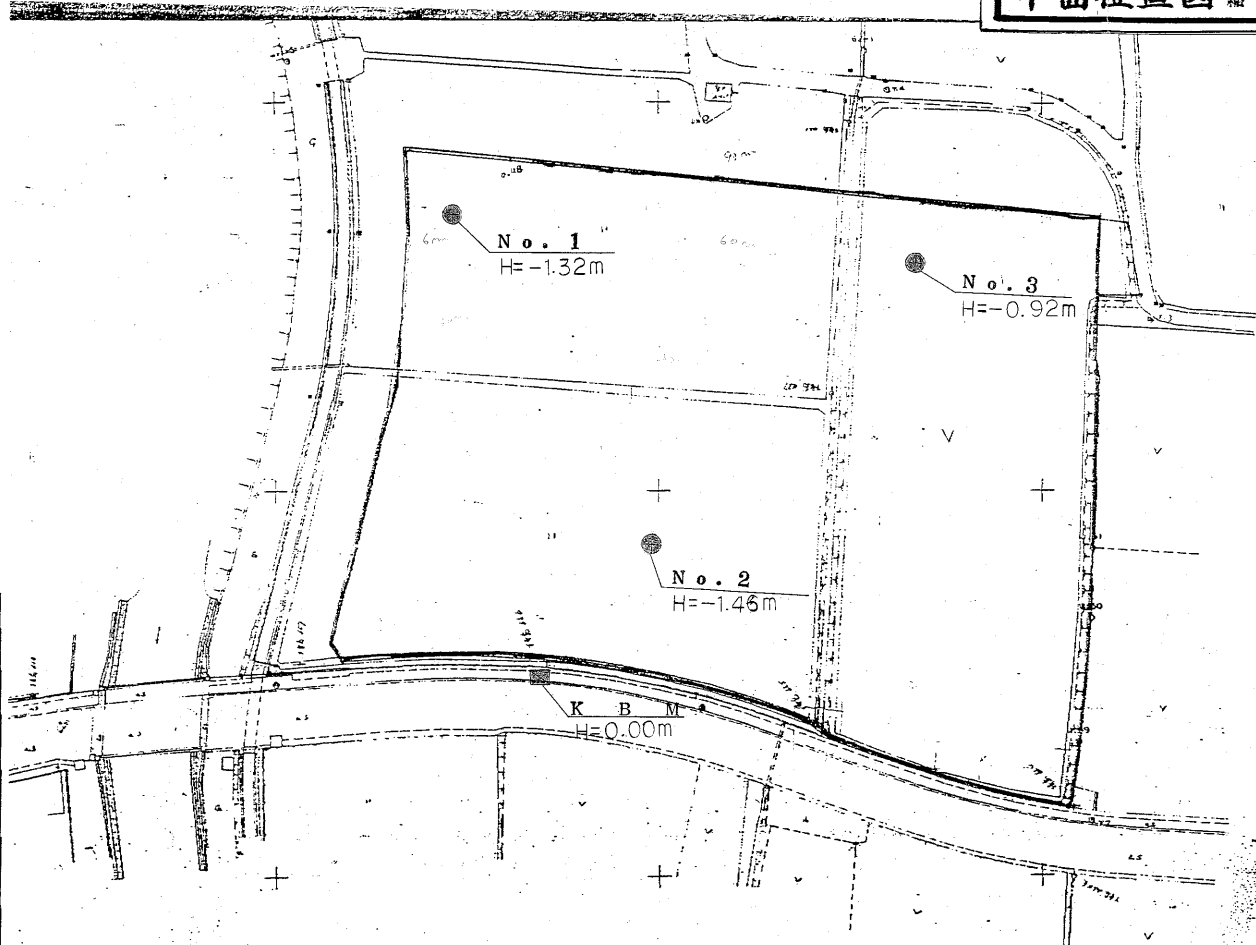


調査位置図

縮尺
S=1:25,000



平面位置図 縮尺 S=1:500



FILE NO. 12133 FROM 23-1201-1712-2-1-100-424 PAGE 01

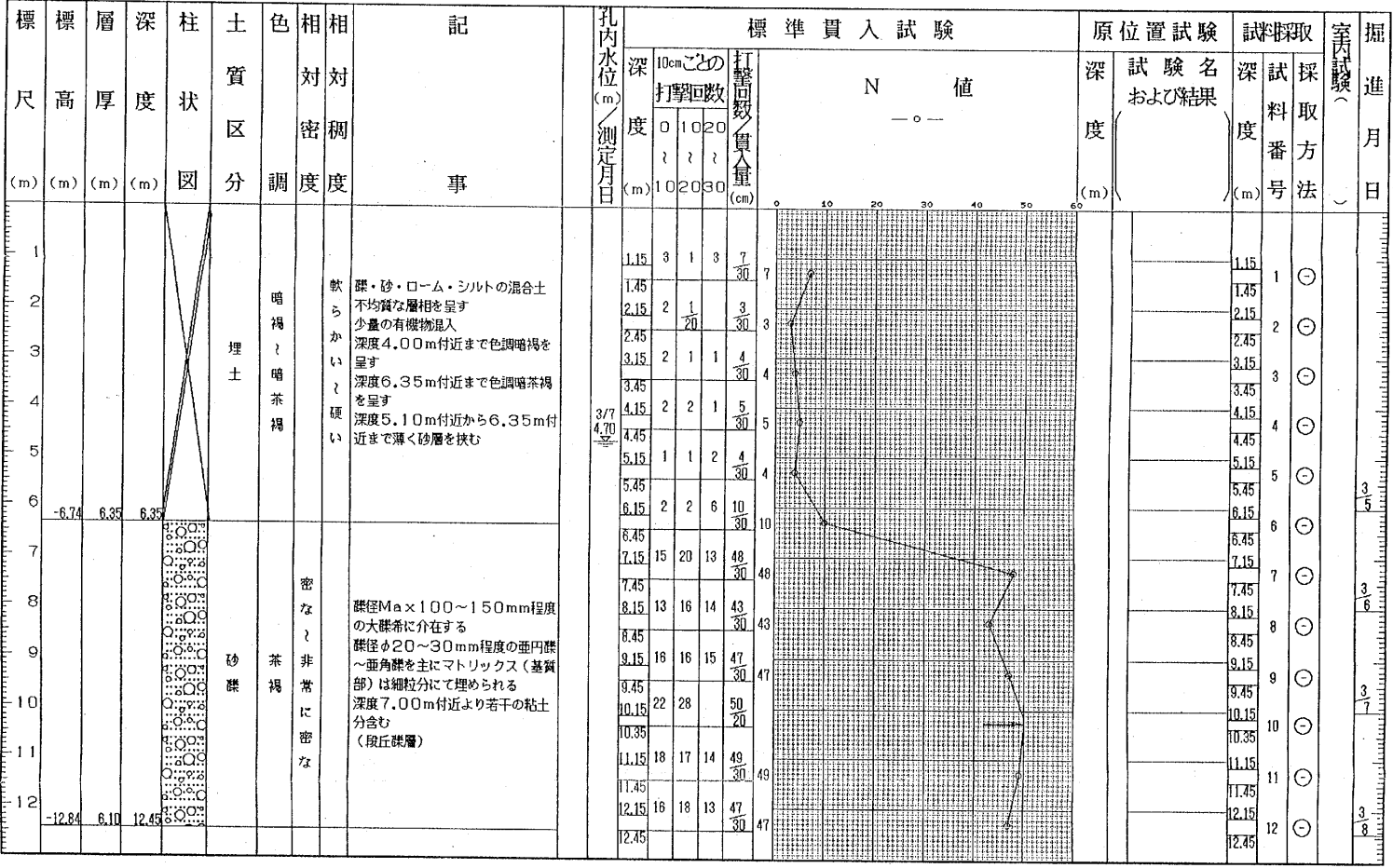
ボーリング柱状図

調査名 (仮称) 瑞穂野地区市民センター新築工事地
質調査

ボーリングNo.											
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

ボーリング名	N o . 2 孔		調査位置	宇都宮市下桑島町1032番地				北緯	
発注機関	宇都宮市役所			調査期間	平成 2年 3月 5日 ~ 3年 3月 8日		東経		
調査業者名	日本測地株式会社 電話(0285-84-5355)		主任技師	現場代理人	コ ア 鑑定者		ボーリング責任者		
孔口標高	-0.39m	角	180° 上	方	北	東	西	南	
総掘進長	12.45m	度	90° 下	向	270° 西	90° 東	180° 南		
試験機	K R - 1 0 0		エンジン	ハンマー 落下用具		コーンブリー ポンプ			



ボーリング柱状図

調査名 (仮称) 瑞穂野地区市民センター新築工事地質調査

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 1 孔		調査位置	宇都宮市下桑島町1032番地				北緯	
発注機関	宇都宮市役所			調査期間	平成 3年 3月 8日 ~ 3年 3月 11日		東経		
調査業者名	日本測地株式会社 電話(0285-84-5355)		主任技師	現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者		
孔口標高	-0.25m	角	180° 上 90° 下	方	北 270° 西 180° 南 東	地盤分配	鉛直	水平	
総掘進長	12.26m	度		向		使用機種	KR-100	ハンマー 落下用具 ポンプ	
						エンジン		コーンブリー	

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠密度	相対密度	記 事	標準貫入試験			原位置試験		採取方法	掘進月日					
									深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	深 度 (m)	試験名および結果							
1				埋土	暗褐色 暗茶褐色	軟らかい 非常に硬い	-	礫・砂質土・粘性土等の混合土 部分的に不均質な層相を呈する 部分的に砂分や細粒分の優位な所見 られる	1.15	6	10	4	20	30	20	1.15	1	○	3 8	
2									2.15	1	1	1	3	30	3	2.15	2	○		
3									3.15	1	1	1	2	35	2	3.15	3	○		
4									4.15	1	2	1	4	30	4	4.15	4	○		
5									5.15	3	1	1	5	35	4	5.15	5	○		
6	-6.85	6.60							6.60	1	1	1	1	30	1	6.60	6	○		
7					砂礫	茶褐色	中位 非常に密な	-	礫径Maxφ100~150mm程 度の大礫を希に介在し、径φ20~ 30mm程度の亜円礫~亜角礫を主 にマトリックス(基質部)は砂や細 粒分に埋められる 細粒分優位であり固結度は高い 礫層は、粘板岩・チャート・砂岩・ 流紋岩・安山岩など多様である (段丘礫層)	7.15	18	8	5	31	30	31	7.15	7	○	3 9
8				8.15						11	18	11	40	30	40	8.15	8	○		
9				9.15						24	13	13	50	30	50	9.15	9	○		
10				10.15						10	13	20	43	30	43	10.15	10	○		
11				11.15						17	14	17	48	30	48	11.15	11	○		
12	-12.51	5.66		12.26						45	5	1	50	11	50	12.26	12	○	3 11	

ボーリング柱状図

(仮称) 瑞穂野地区市民センター新築工事地
調査名 質調査

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	N o . 3 孔		調査位置	宇都宮市下桑島町1032番地			北緯	
発注機関	宇都宮市役所			調査期間	平成 3年 2月28日 ~ 3年 3月 4日		東経	
調査業者名	日本測地株式会社 電話(0285-84-5355)		主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ハンマー落下用具	ボーリング責任者	
孔口標高	-0.15m	角	180°上 90°方 180°下	方	北 270°西 90°東 180°南	地盤公配	使用機種	K R - 1 0 0
総掘進長	12.45m	度		向		水平	エンジン	コーンブリー

標尺	層高	厚	深	柱状	土質	色	相対	相対	記	標準貫入試験				原位置試験		試験採取		掘進		
										深	10cm	打撃	打撃	深	試験名	深	採取			
(m)	(m)	(m)	(m)	図	分	調	度	度	事	孔内水位	0	10	20	N 値	深	度	番号	方法	日	
										(m)	10	20	30	(m)	(m)					
1					埋土	暗褐色	軟らかい	稠い	砂・砂・シルトの混合土 不均質な層相を呈す 少量の有機物混入 深度1.10m付近まで色調暗褐色を呈す 深度6.70m付近まで色調黒灰を呈す	3/2	4.30	1.15	10	7	10	27	1.15	1	○	28
2								1.45		2	3	3	8	30	8	2.15	2	○		
3								2.45		1	2	2	5	30	5	3.15	3	○		
4								3.45		1	1	1	3	30	3	4.15	4	○		
5								4.45		2	1	2	5	30	5	5.15	5	○		
6								5.45		3	2	2	7	30	7	6.15	6	○		
7	-6.85	6.70	6.70					6.45		18	30	2	50	22	6.45	7	7	○		
8					砂	茶褐色	密な	非常に	深度6.70m付近から7.10m付近まで薄く砂層を挟む 深度7.30m付近より若干の粘土分を含む 固結度は高く締まった層相を呈す 粒径Ma×100~150mm程度の大礫を希に介在する 粒径φ20~30mm程度の垂円礫~亜角礫を主にマトリックス(基質部)は細粒分にて埋められる 深度10.70m付近より砂分優位になる(段丘礫層)	7.37	20	14	11	45	30	45	7.15	8	○	
9								8.15		10	18	14	42	30	42	8.45	9	○		
10								9.15		13	9	10	32	30	32	9.45	10	○		
11								10.15		9	13	15	37	30	37	10.15	11	○		
12	-12.60	5.75	12.45					11.45		10	14	20	44	30	44	11.45	12	○		
								12.45							12.45					